

Lecture10

Date & Place: 2009 September 5th, Foumban, Bamoun, Baffousan

Title of lecture: 「カメルーン西部州における王国の形成と伝統的な首長のコミュニティにおける役割（2）」

Lecturers: Mr. F. Evariste（ヤウンデ第一大学）、Mr. Njoya（フンバン王国・秘書）、
木村大治（京都大学）

Summary:

カメルーン西部州における王国の形成と伝統的な首長のコミュニティにおける役割（2）というテーマで、フンバンからバフサンへと移動して別の王国を訪問した。フンバンでは、王族の儀礼の舞台となる「聖なる森」のそばに暮らす王様を訪問した。この聖なる森は、重要な儀礼をとりおこなう場所として利用されていた。今回は、いくつかの儀礼のうちある儀礼の踊りを披露してもらった。（写真1）王と直接話をすることはできなかったが、学生一人ひとりが王に挨拶をし、王からスピーチとプレゼントをいただいた。その後、王の臣下（治安、外交、内務担当）の紹介をうけた。（写真2）



写真1



写真2